



11月の園だより

学校法人志賀学園
松の実こども園
令和3年11月1日

紅葉や銀杏の葉っぱが色づき始め、秋の深まりが感じられるようになってきました。子どもたちは小春日和の中、元気に運動会遊びが続いております。それは、その行事に至るまでの取り組みが楽しかったということと実感し、大変嬉しく思っております。

また、11月2日は作品展です。今年のテーマは『秋まつり』です。ホールに、各学年でお祭りに因んだ共同制作したものを設定したり、個人の絵や作品を展示します。

ちゅうりっぷ・たんぽぽ・もも組さんは、花紙を丸めてポップコーンや綿あめを作ったり、手形や足形を使って可愛い作品を仕上げています。ばら組さんは、扇子に千代紙をちぎって貼ったり、以前自分たちで作って食べたチョコバナナを、色紙で再現したりしました。すみれ組さんは、風鈴ロードやたこ焼き屋さん、出店で売りたい商品を自分で考え、ステッキや剣などのおもちゃ、帽子やアクセサリなどを作りました。さくら組さんでは、自分たちで話し合いながら工夫して、神社の鳥居や賽銭箱、張り子のお面や割りばしペンで描きたい絵を、図鑑を見ながら一筆一筆心を込めて丁寧に仕上げていました。

これから、保護者の皆様にご覧いただきながら、全園児で秋まつりごっこを行う予定です。風鈴ロードを通り、神社にお賽銭をあげお参りをしてから、屋台でお買い物をしたりして遊びます。例年、全学年親子参加で夏まつりを行ってまいりました。今年度も蔓延防止措置期間だったため、8月に年長さんのお友だちと先生方とで行いました。地域では昨年に引き続き、七夕や花火大会、お祭りなどが中止になっています。園では、これまで行っていたことが出来なかったということのないように、工夫して経験できるように考えております。作品展では、子どもたちが思い思いに作り上げた作品の数々を楽しみにご覧ください。

さて、11月15日は「七五三」です。3歳、5歳、7歳と成長の節目に、近くの氏神様に参拝して無事成長したことを感謝し、これからの将来の幸福と長寿をお祈りするのが七五三の行事です。3歳の男女共に「前置き：髪を伸ばし始める」、5歳男子「袴義：はじめて袴をつける」、7歳女兒「帯解き：帯をつかいはじめる」のお祝いで、明治になって現代の七五三として定着しました。千歳飴は、江戸時代からあり、親が子どもの成長を願うもので細く長く縁起の良い紅白で作られています。園では、子どもたちが作った袋に紅白の飴を入れて持ち帰りますので、お子さんと七五三のお話をしながらお召し上がりください。